

交野市教委ニュース

第110号（令和元年6月4日発行）

令和元年度 交野市小中一貫カリキュラム検討委員会 & モデル学園の取組み



小中一貫カリキュラム検討委員会

5月28日、第1回交野市小中一貫カリキュラム検討委員会が開催されました。この会では、昨年度に引続き、9年間を貫くカリキュラムの検討を行っています。今年度は特に、「新たな科」（各学園の「めざす子ども像」の実現のために、縦（9年間）と横（教科等間）のつながりを意識した学園独自の取組み）の創設に重点を置いて進めていきます。各学園によって名称（「〇〇科」）や取組み内容は異なりますが、それぞれの特色があらわれた魅力あるものとなるように取り組んでいきます。

「新たな科」モデル学園の実践発表 及び 市教育委員会からの概要説明



まずは、「交野市の小中一貫教育」モデル学園である交野が原学園の第一中学校長より、「新たな科」として《地域のち科》の創設に向けての自学園の取組みについての発表がありました。交野が原学園は、「地域学習」「人権学習」「平和学習」に焦点をあててカリキュラムの整理を行っています。“～交流と連携で育む交野が原っ子～”を合言葉に小中一貫教育を進めている交野が原学園。「新たな科」の創設により、学園としてのつながりが強く深いものとなるよう、協働しながら取組みに着手されている様子を報告されました。

また、市教育委員会から、「新たな科」創設に向けての説明を行いました。それぞれの学園での「カリキュラム・マネジメント（教育課程の編成・実施・評価・改善）」を行うことそのものが、「新たな科」の創設につながることで、今行われている学習活動を9年間の系統的な学びとなるよう再整理することといった視点を伝えました。

今年度一年間かけてそれぞれの学園で検討や試行実施を行い、令和2年度には「交野市の小中一貫教育」が全面実施となります。将来的には、改善を重ねながら、学園の特色や文化として根付いていくことが期待されます。



9年間のカリキュラムと「新たな科」創設に向けてのグループワーク



後半は、各学園で協議を行いました。9年間のカリキュラムと「新たな科」の創設に向けて、今後の取組みをどう進めていくかを話し合いました。試行錯誤しながらも、目先のことだけでなく、5年先、10年先といった子どもたちの将来を見据えて進めていけるようそれぞれの学園が動き出しています。

きみが^{STAR}★だ
交野市の小中一貫教育
～みんなが輝く未来をめざした学校づくり～

交野が原学園プロジェクト会議の取組みスタート



5月23日には、今年度早くも2回目のプロジェクト会議が行われました。全体会のあいさつの中で第一中学校長より、今年度は公開授業等の大きな発信はないが9年間のつながりを考えた小中一貫の継続した取組みをしたいと話がありました。また、今年度のゴールは新学習指導要領を踏まえたカリキュラム概要版の改訂を行い、新入生説明会や就学説明会に配布することを確認されるとともに、他の学園から今年度新たにいられた先生方とこれまでの取組みを共有しながら進めましようとも話されました。

全体会後は、10のワーキングチーム（プロジェクトB／各教科）に分かれ、昨年度の活動まとめを共有し、今年度の年間計画について話し合いをされました。

今年度は年間を通じて10回程度のプロジェクト会議で進める計画になっています。